



くまの かつゆき
熊野 活行

日本システム企画株式会社
代表取締役社長

Profile

昭和24年9月生まれ。67歳。
東京理科大学工学部工業化学科卒業後、大日本印刷株式会社入社。昭和63年日本システム企画株式会社を設立。同年に日本ヘルス食品株式会社（現日本ヘルスケア株式会社）を設立。2つの会社の代表取締役社長を兼任。国際交流活動も盛んに行っている。

**本業を全うする社会構造へ
社会に役立つ商品作り**

弊社は「環境」と「健康」をキーワードとした商品を提供しています。「環境」分野では、配管の延命装置の企画・製造・販売、「健康」分野では、主に介護用品の企画・製造・販売です。昭和63年6月に設立以来、29年連続黒字です。これは、弊社の商品が社会に受け入れられ、理解されている結果だと思っています。

創立時はバブル期で、世の中が本業を忘れ過度に利益を追求するという社会構造であった為、それを正しく戻したいという願いから、社名を「日本システム企画」としました。以来、社会貢献となる企業活動を行うという理念に基づいて、事業を行っています。現在は、この理念をグローバルに広める活動として、国際親善活動も積極的に行っています。

企業活動は儲かるから行うものではありません。利益は会社を継続・発展する手段であり、目的ではないのです。企業活動を行う時、それは社会に役に立つかどうかを考える必要があります。企業活動



▲社員一人ひとりが目的意識を持って働くという社風は、「社員、家族、社会の幸福を実現する為、常に成長を続ける」という企業理念が社員に浸透しているから。社員全員で会社を運営し、社会貢献しようという雰囲気があふれています。

そのものが社会貢献であるべきだと、私は考えています。

経済活力を取り戻す商品を

主力商品は、配管延命装置「NMRパイプテクター」です。これは、配管内の赤錆を黒錆に変えて赤水を解消し、配管内に発生した赤錆を黒錆に還元させることにより、配管内の強度を維持し、赤錆閉塞を改善させ配管を延命するものです。

赤錆による健康被害と漏水を防ぐため、マンションやオフィスビ

ル、病院施設、工場設備等で使われています。この技術は日本・アメリカ・ヨーロッパで特許を取得した、世界唯一のもので。海外では、イギリスのパッキンガム宮殿をはじめ、多くの公的な病院や施設の他に、大英博物館にも採用され、高い評価を得ています。

この配管延命装置「NMRパイプテクター」を広める目的は、現在国内外の建物内の配管及び水道管のメンテナンス費用は莫大な金額がかかるため、この配管交換のコストを削減し、これを新規の投

資に回すことで、社会・経済の活力を取り戻すことができると考えています。我々の事業は、「環境と健康に役立つ商品を提供し、社会に貢献する」「事業を通じて国際親善・友好を促進し、国際社会の繁栄に貢献する」「社員、家族、社会の幸福を実現する為、常に成長を続ける」の3つの理念に基づいており、社員にもその精神は根付いています。

組織には、目的を持って働く人と、そこにおら下がる人の2つのタイプの人がいると言われていますが、弊社の社員には、おら下がるタイプの人間はいません。全員が会社の理念に基づき、それぞれが目的を持ち仕事をしています。

日本を最も豊かな国にすることが、私の使命と考えています。最も豊かな国にするために今後解決しなくてはならない課題としては、「労働人口の増加」と「エネルギー自給」の2つがあります。

この2つを解決できる商品の研究開発を、10年前から続けています。商品化へはあと少しの手続きを踏まなくてはなりませんが、この事業を完成し次世代へ継承する事が大切と信じています。

環境と健康に役立つ

商品で社会貢献